

経営比較分析表（令和5年度決算）

佐賀県 太良町

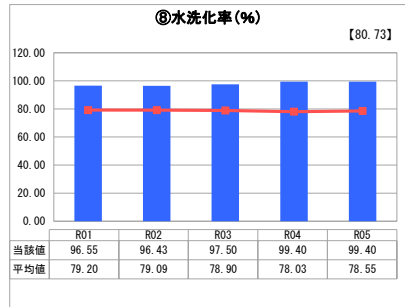
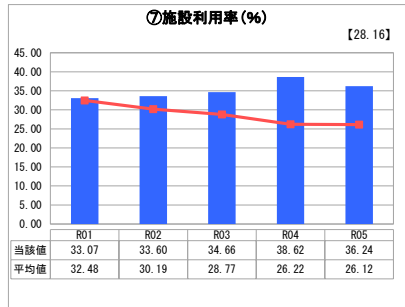
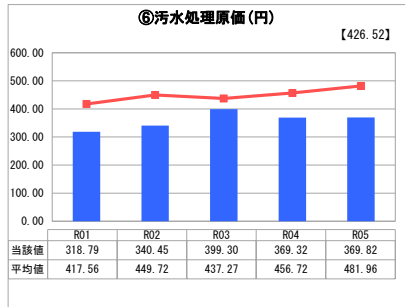
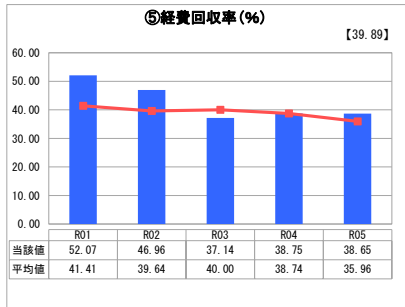
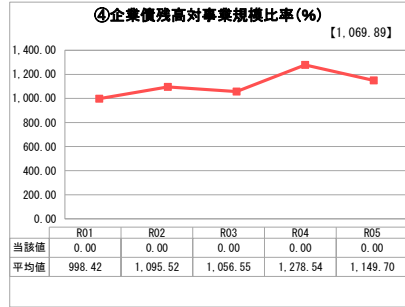
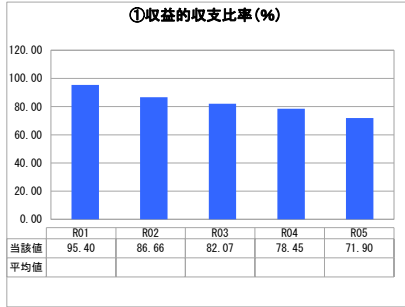
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	6.21	100.00	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,069	74.30	108.60
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
497	0.16	3,106.25

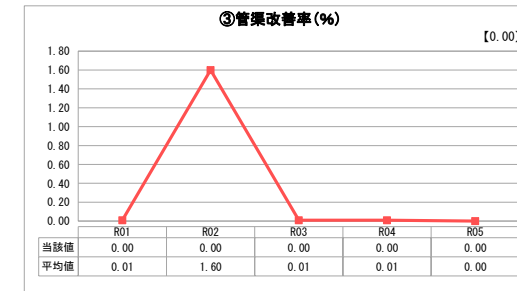
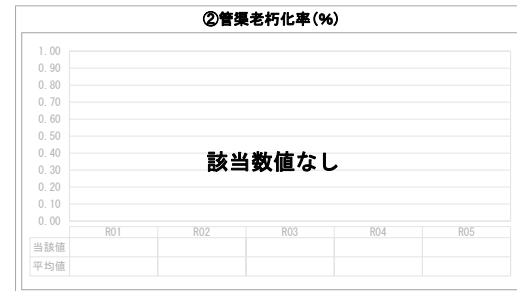
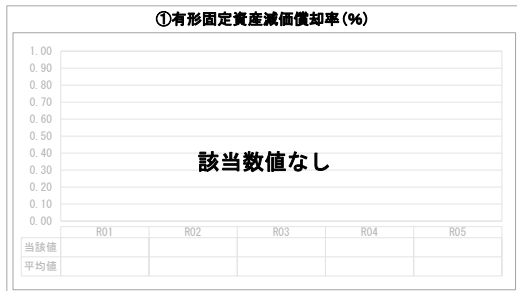
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○収益的収支比率は71%となっており、単年度収支は赤字となっている。一般会計からの繰入金に依存しており、経営改善を図る必要がある。

○経費回収率は38%台と低い割合である。これは当初計画の処理対象人口に比べ人口減少が進んでいることもあり、料金収入が減少し、一般会計からの繰出金に頼らざるを得ない状況が続いているためである。料金収入についても、町内の1地区の集落排水であり、大幅な料金引き上げをしても経営的に難しい状況である。費用についても昨今の光熱水費の値上げや人件費の賃上げ等により厳しい状況であるが、経費を見直し削減を行っていく必要がある。

○汚水処理原価は類似団体に比べ110円程安い状況である。維持管理費の削減等を図っていききたい。

○施設利用率は30%台で推移している。今後、人口増加も見込めず、現在の推移が継続することが推測される。ただし処理量は季節によって大きな変動がある。地理的要因があり統廃合も課題となっている。

○水洗化率は99%であり、比較的高い水準である。

2. 老朽化の状況について

○処理場内の機能保全計画を作成し、計画的な機器更新や中継ポンプの点検、交換等を行い長寿命化を図っている。

全体総括

○維持管理費を一般会計繰入金で賄っている状況が続いている。今後も更なる維持管理費の削減や見直しに努めると共に、料金収入の見直し等も視野に入れて検討する。また、令和6年度より公営企業会計に移行したので、経営分析をし、経営改善を図りたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。